

せんなんネットワーク

第130号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

新会員紹介

未来につなごう！【ボランティア「ねこ活」】（白石市）

私たちは、宮城県内を中心に行き場のない猫の保護と譲渡活動を行っているボランティア団体「ねこ活」です。

主に、宮城県内の保健所および動物愛護センターから、成猫や傷病猫を受け入れ、保護から譲渡までを一貫して行っています。

保護した猫は、動物病院での健康チェックや治療、ワクチン接種、不妊去勢手術、ウイルス検査など適切な医療を受けさせたうえで、性格や体調に配慮しながら新しい家族を探しています。譲渡にあたっては、譲渡会を実施するとともに、個別のお見合いにも対応し、飼育環境や先住動物の状況を確認しながら、猫と人の双方にとって無理のない譲渡を心がけています。また、譲渡後も継続的な相談対応を行い、安心して猫との生活を続けていただけるようサポートしています。

このほか、不妊去勢を行ったうえでの室内飼養や、猫と周囲の人の双方にとって望ましい適正飼養の大切さについても、活動を通じて伝えています。

一匹でも多くの猫が安心して暮らせる環境につながるよう、地域に根ざした活動を今後も続けていきます。

執筆者：ボランティア「ねこ活」 佐藤



保護された猫



ボランティアねこ活
ホームページ➡



<https://nekokatsu-miyagi.com/>

会員活動報告

<ともにあゆむ会・しばた>

柴田、船岡といえば「桜」です。その「桜」の縁で宮城県農業高等学校科学部の活動を知り、展示会を開催しました。宮農科学部の桜プロジェクトチームは東日本大震災の津波で生き残った校庭の桜を人工交配し、先輩から後輩へつないできました。それが「玉夢桜」です。さらに耐塩性と高温乾燥耐性を持った「桜色活力剤」を開発しました。つなぎ伝えてきた若人の取り組みを地域の皆さんに紹介することができたことはとても楽しく有意義なものになりました。

開催期間と場所は下記のとおりでした。

期間：令和7年4月6日（日）～4月20日（日）

場所：カフェ なすがまま（柴田町東船迫）



宮城県農業高等学校科学部の生徒の様子

<NPO 法人蔵王のブナと水を守る会>

「桜色活力剤」は広葉樹にも効果があるか？

7月13日、当会の仙台市荒浜海岸植林地に宮城県農業高等学校科学部の皆さんが、研究・開発を進めてきた植物活性剤「桜色活力剤」を散布に来てくれました。この活力剤は桜の高温・乾燥・塩害に対する耐性を高める効果が期待され、東日本大震災後に露地試験や被災地へ桜を植える活動を通じて実証を重ねています。

今回は、当会の荒浜海岸林において、桜以外の広葉樹にも効果があるかどうかの実験です。ケヤキ（2本）、コナラ、カスミザクラ、アカシデ、ウワミズザクラ、アベマキ、ミズキ、イタヤカエデ、イヌザクラの10本に散布しました。

その後、8月に会員で2回目の散布、11月に樹木の計測を行いました。



桜色活力剤の散布

<おはなしの会「びいかぶう」>

【こどもたちへ】

○びいかぶうのおはなし会

日時：毎月 第1・3水曜日 15:30～17:00

会場：びいかぶうのへや（野ばら）

○柴田町図書館 紙芝居おはなし会

日時：毎月 第1土曜日 11:00～11:30

会場：柴田町図書館

○学校支援

柴田っ子応援団（個人で船岡小学校の朝読書に参加）

【おとなの学びの会】びいかぶうのへや

○わらべ歌を楽しもう！ 日時：奇数月第3金曜日

○宮澤賢治作品を読み合う会 日時：毎月第1水曜日

○絵本っておもしろいんだよ 日時：毎月第3水曜日

※いずれも 13:00～15:00



びいかぶうのへやでのおはなし会の様子

【お問合せ先】

おはなしの会びいかぶう代表 小塩直枝

電話：0224（55）0916

令和7年度みやぎ地域づくり団体協議会 全体交流会

令和8年2月2日(月)、みやぎ地域づくり団体協議会の全体交流会が登米市で開催されました。県内各支部の地域づくり団体の皆様や支部事務局が参加し、講演や視察などを通して交流を深める機会となりました。

はじめに、有限会社伊豆沼農産の佐藤代表取締役よりご講演をいただきました。同社は「農業を食業に変える」をコンセプトに、自社ブランド「伊豆沼赤豚」の輸出やハム製造など、6次産業化で大きな成果を上げています。現在は、農泊や食農体験を組み合わせた「農村の産業化」にも取り組んでおり、その幅広い展開が紹介されました。また、地産地消の実践の場として運営されている「くんべる農場レストラン」では、赤豚や直売所の新鮮な野菜を使った料理が提供されており、昼食を通して、地元食材の可能性と地産地消の魅力を改めて感じることができました。

続いて、同社が運営する宿泊施設「伊豆沼レイクヒル天上」を視察しました。この施設は、地域で増加する空き家を活用した宿泊事業の一環として、昭和54年築の木造平屋を改修し、令和7年7月に一棟貸しの宿としてオープンしたものです。

その後、空き店舗を改修したカフェ「パブリックスペースモトハマヤ」を視察し、米川公民館へ移動して、同カフェを運営する一般社団法人まちづくりの管野代表理事より講演をいただきました。「パブリックスペースモトハマヤ」のリノベーション・運営のほか、15年ぶりに復活した「米谷(まいや)の花火」、食品工場跡地での「ご縁市」の開催など、多様な事業を幅広い世代とともに展開している様子が紹介されました。こうした活動を通じて、世代を超えた地域コミュニティの活性化に大きく寄与している好事例を学ぶことができました。



伊豆沼農産での講演の様子



パブリックスペースモトハマヤ

令和7年度みやぎ地域づくり団体協議会 仙南支部交流会



ワークショップの様子

令和8年1月20日(火)、仙南支部交流会を大河原合同庁舎にて開催しました。当日はファシリテーターの清水氏を講師にお迎えし、参加者同士がワークショップを通してファシリテーションスキルを学ぶ講座を行いました。

仙南地域の課題をテーマに、各グループで付箋を使いながら意見を出し合い、場の雰囲気づくりの大切さを体感しました。また、アクティブラーニング(傾聴)の実践ワークにも取り組み、参加者同士が楽しみながら交流を深める機会となりました。

令和7年度 仙南地域 地域おこし協力隊交流会

令和8年1月15日(木)、大河原合同庁舎にて「令和7年度 仙南地域・地域おこし協力隊交流会」を開催しました。

この交流会は、協力隊員同士が活動状況を共有し、意見交換を行うことで、市町の枠を超えて相談や連携ができる関係づくりを目的としています。当日は、仙南地域4町から6名の協力隊員が参加しました。

はじめに、今年3月で任期満了を迎える蔵王町地域おこし協力隊・高尾隊員よりご講演いただきました。

3年間の活動を振り返り、

- ・「やって良かったこと」
- ・活動で得た気づきや経験
- ・現役隊員が今後の活動に生かせるポイント

など、実体験に基づいたお話を伺いました。参加者からは「卒業後のイメージが具体的になった」「今後の活動の指針になった」といった前向きな声が寄せられました。

続いて行われたテーマ別情報交換では、「卒業後の進路」と「情報発信」の2つをテーマにグループ討議を実施しました。

25分という限られた時間ながら、課題や成功事例を活発に意見交換し、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

参加者同士の交流も深まり、今後の連携に向けて有意義な場となりました。



講演の様子



情報交換

事務局からのお知らせ

情報をお寄せください

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等も県大河原合同庁舎をはじめとする管内の公共・集客施設等に設置します。PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。皆さまからの情報提供をお待ちしています。

本誌や当支部についての御意見・御要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1

電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076

e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html>

次号は令和9年3月頃発行予定です